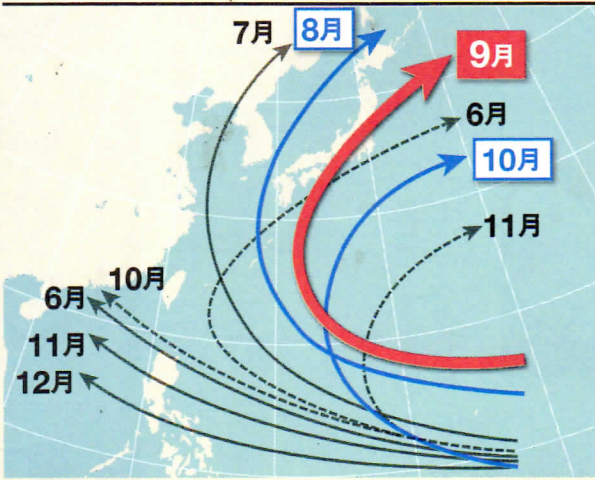


台風は9月に上陸しやすい



※台風の月別の主な経路。破線はそれに準ずる経路 (気象庁HPより)

台風の発生数が最も多いのは8月だが、この時はまだ不安定な経路を取ることが多い。9月に入ると、日本付近を通ることが多くなる。実際のデータを見ても、日本への接近数は8月が最も多い。

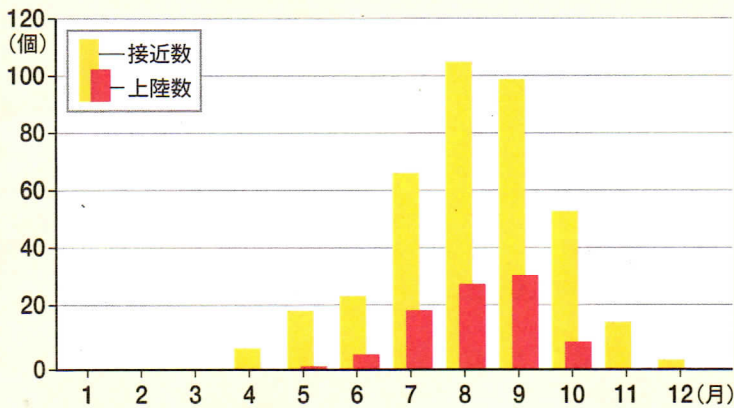
油断大敵だ。最近では10月の被害も大きいので

9月に一番の猛威を振るう

の、上陸した回数が最も多いのは、9月である (左下図参照)。

ここで、前々ページのランキング表をもう一度見てほしい。過去に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風や枕崎台風などは、9月に上

上陸する台風が最も多いのは9月



月別の接近・上陸数 (1991年~2022年8月) (気象庁HPより)

狂暴化したまま逆走する

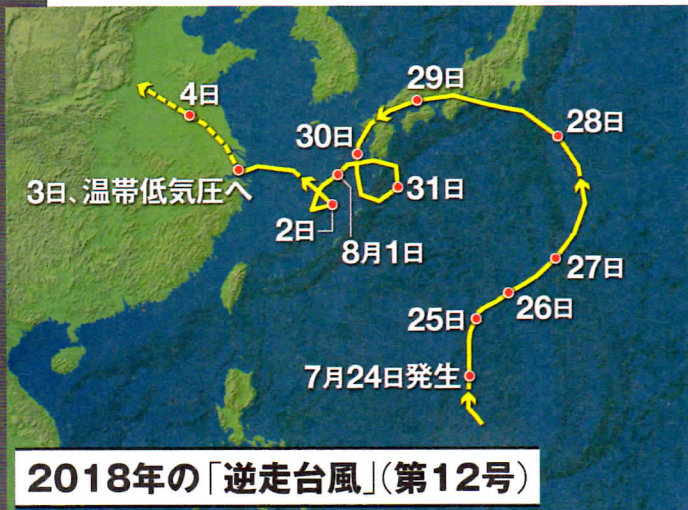
「台風は、自力では進むことができませぬ。動きを支配するのは上空の風なので、その時

期の気圧配置などで進路が決まります。一般的に台風は、日本の南にある小笠原高気圧のへりに沿って進むので、西から北へ向きを変え、やがて北東へ進みます」(前出の古川氏)

周辺の気圧

配置によって、迷走・逆走するかのよ

うに日本列島を横断・停滞することもある。18年の台風12号は強い勢力を保ち、三重県に上陸すると西進、屋久島と東シナ海付近でくると2回ループするという奇妙な動きを辿った (左図参照)。



2018年の「逆走台風」(第12号)